

農業の新しい技術

No. 688(平成27年5月)
分類コード 01-14
熊本県農林水産部

褐毛和種種雄牛「^{ゆきいずみ}幸泉」の選抜

農業研究センター 畜産研究所生産基礎技術研究室
担当者：安武誠至

研究のねらい

産肉能力直接検定で選抜された種雄牛の遺伝的能力を推定するため、後代牛による産肉能力現場後代検定を実施し、その肥育及び産肉能力により優秀な種雄牛を選抜する。

研究の成果

1. 脂肪交雑、ローズ芯面積が抜群に優れた褐毛和種種雄牛「幸泉」を選抜した。

○血統

父 波泉 (繁殖 116)	祖父 光玉波(高 80)	— 第五玉波(特級 96)
	祖母 しげほまれ☆(産肉 640)	— 光重E T(育高 1)
母 ゆきみ☆☆ (育高 739)	祖父 第十四光重(高 83)	— 光重E T(育高 1)
	祖母 ゆきしげ(高 4114)	— 第十重川(高 65)

○登録番号：繁殖 1 8 3 (8 6)

○生年月日：平成 2 2 年 3 月 2 3 日

○生産地：宇城市松橋町

2. 現場後代検定成績および育種価

○脂肪交雑(BMSNo.)は去勢 4.38、雌 4.00 と優れており、育種価でも 3.02(評価種雄牛 497 頭中 2 位)と極めて高く、優れた能力を有すると推定される。

○ローズ芯面積は去勢 56.5 cm²、雌 58.0 cm²と優れており、育種価でも 8.05(評価種雄牛 497 頭中 13 位)と極めて高く、優れた能力を有すると推定される。

○バラの厚さが去勢 7.6cm、雌 8.6cm と優れており、育種価でも 3.15(評価種雄牛 497 頭中 65 位)と高く、優れた能力を有すると推定される。

○SBVについては脂肪交雑 3.07、ローズ芯面積 2.40、バラの厚さ 1.07、皮下脂肪の厚さ-1.16 と改良効果が高いと推定される。

※SBV(標準化育種価)は、育種価評価値を個体の特徴を明確にするために、数値に変換したもの。値が±1 以上の場合、改良効果が高いことを示す。

3. 特徴

現場後代検定において脂肪交雑が歴代最高の成績であり、さらにローズ芯面積やバラの厚さについても優れており、極めて優秀な肉質の種雄牛です。希少系統である重波系「波泉」の産子であり、様々な交配に利用しやすい種雄牛です。



幸泉 (ゆきいずみ)

表1 現場後代検定成績

区分	頭数	枝肉重量 (冷と体) (kg)	脂肪交雑 (BMS No.)	ロース 芯面積 (cm ²)	バラの 厚さ (cm)	皮下脂肪 の厚さ (cm)	日齢枝肉 重量 (g)
去勢	13	460.7	4.38	56.5	7.6	2.7	610.9
雌	1	452.1	4.00	58.0	8.6	3.2	593.3

表2 育種価(BV) (H27.2 評価)

	枝肉重量	脂肪交雑 (BMS No.)	ロース芯 面積	バラの 厚さ	皮下脂肪 の厚さ	日齢 枝肉重量
順位	277	2	13	65	55	285
育種価 (正確度)	-2.32 (0.86)	3.02 (0.89)	8.05 (0.84)	3.15 (0.85)	-5.31 (0.88)	-4.73 (0.86)

※ 後代頭数18頭(フィールド成績を含む)

※ 順位は評価種雄牛497頭中の順位

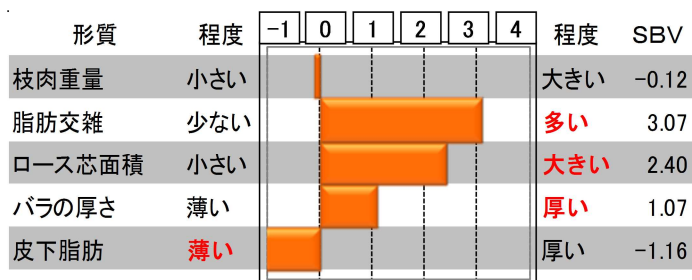


図1 SBV (標準化育種価)